5/8 県福

第4波 ピークこれから

福井大 岩崎教授に聞く

五輪やるなら 今、都市封鎖を

▲「本当のピークはこれからでは」と語る岩崎教授＝永平寺町の福井大病院で

変異株の感染拡大による第四波が県内を襲った。県は独自の緊急事態宣言を出し警戒を呼びかけているが、依然として病床占有率は高い。この状況をどう捉えるのか。感染症の専門家、福井大病院感染制御部の岩崎博道教授(六二)に尋ねた。

（聞き手・藤井生）

―第四波をどう見るか。

連休明けから大都市圏を中心に莫大な感染者数が出る可能性もある。県内でも感染拡大のピークを越えているのかは分からない。今は平行線のように見えるが、本当のピークはこれから来るのではないか。変異株の感染力や全国の状況を考えると、これで収まるとは思えない。

―変異株とはどのようなものか。

全く新しい新型コロナウイルスと考えてもよいのではないか。患者をみていると、若い人の重症化率の高さや子どもの感染者が多いこと、入院が長引く傾向にあることなど、従来とは異質な面が見える。しかしマスク着用と手洗いの励行という対策は同じ。

―五輪の開催についての見解は。

無観客で開催するにせよ、本当に開催するのならば、今この時期に都市封鎖のような措置に踏み切らないと効果がない。ワクチンが一番の解決策だが、五輪開催までに多くの人が打つのは間に合わないだろう。

―ワクチンの普及の速度について。

もっと早く普及すると思っていた。日本でも数カ月あればと言われていた時期もあったが、いまだ治験は進まない。英米に比べ日本のワクチン製造の体制はまだ整っていない。またワクチンの意義も十分説明されていない。

―今後の見通しについて。

ワクチン接種が進まないと、第四波が収まってもいずれ第五波が来る。インド株も拡大のスピードが速い印象がある。福井の医療従事者は、コロナ対応に慣れてはきたと思うが油断が一番心配。連休明けの一週間ほどの動向を注視したい。とはいえ、日ごろの感染対策は変わらない。

新型コロナ

県内新規感染13人

5日ぶり2桁、累計934人

県は七日、新たに福井市と坂井市、勝山市、越前市、敦賀市の計十三人が新型コロナウイルスに感染していたと発表した。感染発表が二桁になるのは二日の十四人以来、五日ぶり。新規患者の確認は四十一日連続で、県内の累計は九百三十四人となった。

十三人は八系統に分類でき、六系統が新規だった。四人は六日に感染が発表された福井大病院（永平寺町）の医師の関連。坂井市の四十代男性は大学職員、福井市の三十代男性は医師で、同じ職場だった。福井市の三十代無職女性は六日発表の医師、坂井市の四十代無職女性は大学職員のそれぞれ同居家族だった。

これまでに児童、教員ら四十五人が感染している敦賀市中郷小学校では、新たに児童一人の陽性が判明した。同小は休校中のため、感染拡大の恐れはないという。同小と気比中学校は十日から学校を再開する。

県内の新型コロナウイルス感染状況（7日）　※かっこ内は前日からの増減。単位は人

感染者	総人数	934（＋13）
	うち変異株	269(0)
	直近1週間	59(＋11)
居住地	福井市	376(＋6)
	坂井市	108(＋2)
	越前市	61(＋1)
	鯖江市	59(0)
	大野市	26(0)
	あわら市	20(0)
	勝山市	6(＋3)
	敦賀市	135(＋1)
	小浜市	35(0)
	越前町	16(0)
	永平寺町	15(0)
	南越前町	5(0)
	池田町	1(0)
	若狭町	18(0)
	高浜町	17(0)
	おおい町	9(0)
	美浜町	4(0)
	県外	23(0)
療養・医療の状況	死亡	33(0)
	重症	1(0)
	軽症ほか	96(＋5)
	宿泊療養施設	0(0)
	県外入院	0(0)
	退院	804(＋8)
	病床占有率	32.9%
	ICU占有率	4.2%

残り八人は新規の系統になる。福井市の三十代女性は同市の高志中学校の教員で、感染経路は調査中。高志中は同日、臨時休校となった。教員全二十四人と最終勤務日の四月三十日に授業を受けた高志高校を含む三クラスの生徒八十九人の計百十三人に七日、PCR検査を実施した。学校再開日は検査結果を踏まえて決まる。

勝山市の四十代女性は、道の駅「恐竜渓谷かつやま」のパート従業員。四月中旬～下旬に和歌山県に帰省していた。女性と同居家族の四十代自営業男性も陽性が判明した。

福井市の六十代農業男性と八十代無職女性は同居家族。このほかは越前市の二十代女性会社員、福井市の四十代男性会社員、勝山市の八十代無職女性で、いずれも感染経路は調査中。

一方、県は七日、変異株の検査を「全数」から「系統ごとの一部」に切り替える方針を示した。感染の大半が変異株のため。三月以降の検査では五十系統のうち、新たに十四系統が英国型だったと発表した。英国型は三十三系統となり、残り十七系統は検査中となっている。（山本洋児、玉田能成）

女性従業員感染 道の駅臨時休業

勝山、きょう再開

新型コロナウイルスの感染が確認された四十代女性がパート従業員として勤めていた勝山市の道の駅「恐竜渓谷かつやま」は七日、臨時休業した。利用者と従業員に濃厚接触者はおらず、八日から営業再開する。

道の駅運営の「勝山市観光まちづくり」によると、女性は五日まで勤務し、六日にPCR検査を受けて陽性だった。七日に店内清掃や消毒を行った。

道の駅ではスタッフの食事を交代で取るなど対策していた。他の七人は七日にPCR検査を受け全員が陰性だった。（平林靖博）